



# 風の子

校訓

心ゆたかな子  
たくましい子

かしこい子  
自らはげむ子

学校教育目標 自ら学ぶ 心ゆたかな たくましい児童の育成  
学校だより No.16 令和6年1月9日 水戸市立堀原小学校

## 今年もよろしくお願ひいたします

## 校長 鈴木 麻紀

子供たち一人一人が、「わかった」「できた」「嬉しい」と実感できる場を増やせるよう全職員一丸となって尽力してまいります。

新しい年、2024年を迎えました。

今日、みなさんとこのように元気なあいさつで3学期をスタートできることをとても嬉しく思います。今年、辰年です。辰年は、十二支の5番目に位置付けられています。十二支には、それぞれ実際の動物があてはめられていますが、辰だけが伝説上の生き物で、実際に見た人は誰もいません。その生き物を「龍」や「ドラゴン」と表現することもあります。

みなさんは、堀原小のシンボル「ほりドラッ子」を知っていますね。イラストに描かれているのは正にドラゴンです。龍が天に向かって昇る姿は、希望や夢に向かって頑張ることにつながります。今年、目的をしっかりと持って、自分の希望や夢に向かって大きく成長する「ほりドラッ子」を目指してほしいと思います。

3学期は、とても短い期間です。1年間のまとめと来年度に向けての準備をしっかりとできるようにしてください。6年生は、3月に卒業を迎えます。堀原小の伝統を下級生に引きつぐとともに、よき思い出をたくさん作ってほしいと思います。

一人一人にとって「分かった」「できた」「うれしい」いっぱい3学期にしてください。



## 「3学期がんばりたいこと」 2年 長妻 蓮大さん

ぼくは、3学期でがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、毎朝早くおきられるようにすることです。ぼくは毎朝おきるのがおそくなってしまい、おかあさんにおこしてもらっています。毎朝早くおきるには、ねる前にめざましアラームをせっていして、早くねるようにしないとイケないです。早くおきれば、朝ごはんをしっかりと食べられて、学校のじゅんぴもちゃんとできて、気持ちよく学校に行けると思います。

二つめは、かけ算やパワーアップテストで百点をとりたいことです。学校からくばられているテストでまちがえているぶんがあり、九十点や九十五点で、あと一歩足りないからです。毎回百点をとるためには、テストの間違いをといたあと、テストがおわる時間までなん回もみなおしをすることだと思ひます。毎回百点をとれるようになれば、パパやママにほめられてうれしい気持ちになり、つぎもべんきょうをがんばりたい気持ちになれるとおもひます。

3学期にむけて、この二つをがんばりたいと思ひます。



## 「3学期の目標」 5年 長谷川結菜さん

3学期が始まりました。5年生にとって3学期は最高学年、6年生に向けての準備の期間だと、私は思ひます。

今までをふり返って、1学期は運動会で準備係として、みんなが楽しく運動会ができるようにすばやく動くことを学びました。宿泊学習では、みんなとの絆を深め、人を思いやる気持ちを学びました。1学期は人のために動くことを学びました。

2学期は、6年生の陸上記録会のそう行会や創立記念集会をやったことで、会を開くためには、いろいろな工夫や努力が必要なることを実感しました。持久走大会では、目標タイムよりタイムを短くするために、家でもたくさんの努力をしました。そして、その努力のおかげで目標タイムより25秒速くなりました。2学期は努力することの大切さを知りました。

努力は家でもたくさんしました。勉強面では漢字、計算だけでなく、自主学習にも取り組みました。他にも、習い事や家の手伝い、そうじもしっかり行いました。それを毎日続けたことで、習慣になりました。これからも、良い習慣を身に付けたいです。

私は、人のために動き、努力することができる6年生になるために、この3学期を、人のことを思い、たくさんの努力をして過ごしていきたいと思ひます。